



平成29年練馬区の結核の状況

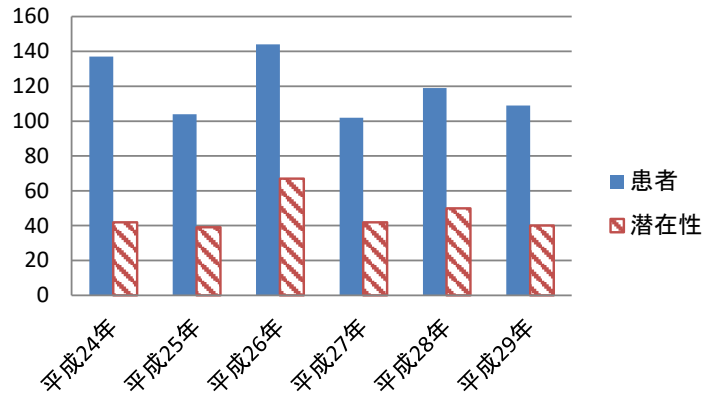
〈結核対策の状況〉

患者は平成25年まで徐々に減少し、平成26年は患者・潜在性結核を含め増加しましたが、その後は増減しながら横ばいに推移している状況です。

平成29年新規登録患者 109名
 ・肺結核塗抹陽性患者 38名
 ・その他の結核患者 71名
 平成29年新規潜在性結核感染症患者 40名

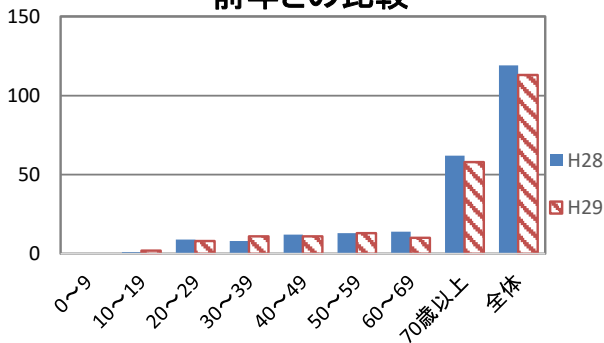
※練馬区の罹患率は、14.9（人口10万人対）です。日本は2020年までに10以下にすることを目標としています。

新登録者数の推移



新患者登録者数(年齢別)

前年との比較



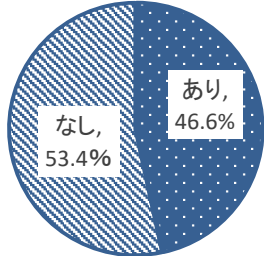
全体の患者数は横ばいの状況です。毎年20代から60代までの世代の患者も万遍なく発生しています。

患者数は70歳以上の割合が全体の51%で過半数を占めています。

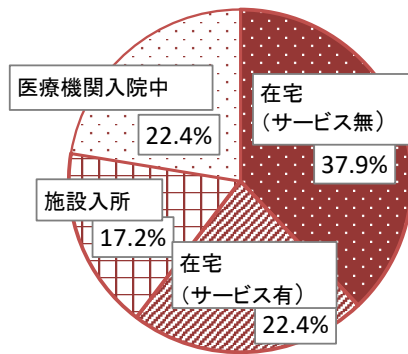


【トピックス】高齢者（70歳以上）の結核

高齢結核患者の呼吸器症状有無



高齢結核患者 診断時の居住地



高齢者で結核と診断された患者の中で、呼吸器症状がなかった患者は半数近くいました。

高齢者は典型的な結核の症状はないことが多く、下記のような結核とはわかりにくい症状で現れることが多くなっています。

(例) 元気がない、微熱が続く、体重減少等

呼吸器症状がないことから、診断の遅れにつながる可能性が高くなります。

全体の4割の患者が医療機関に入院、施設に入所中でした。また2割の患者が在宅でサービスを利用していました。

本人も症状に気づきにくい中、普段とは違った様子を周りの関係者が気づくことで、結核の早期発見につながります。

DOTS（直接服薬確認療法）とは？

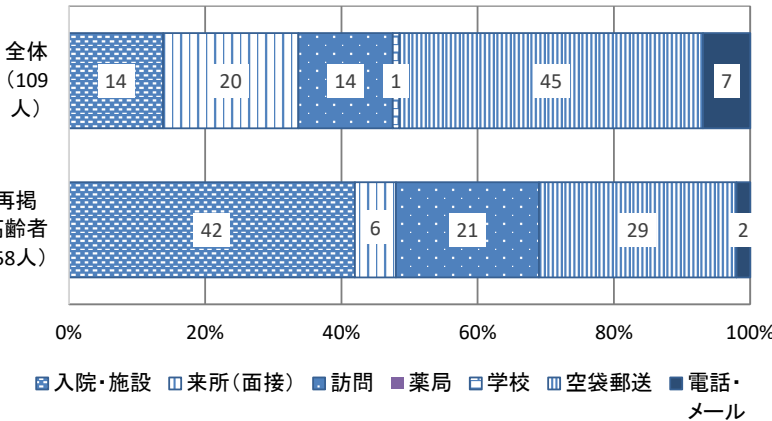


一人ひとりに合わせた方法で、服薬確認を行う服薬支援をDOTSといいます。
結核は服薬開始後、2週間～1か月経過すると症状が改善されますが、最低でも6か月～9か月間の服薬が必要です。理由として、結核菌は分裂速度が極端に遅いので薬の効き目が悪く、服薬を中断したり不規則になると、体の中に生き残った結核菌が勢いを盛り返し、結核が再び悪化（再発）したり薬が効かない菌（薬剤耐性菌）だけが生き残り増えてしまうからです。

患者の重症化予防だけでなく、薬剤耐性結核をつくらず、周りの人を結核から守るためにも治療完了率を高めることが結核対策では重要です。

それぞれの方に合わせたDOTS方法

全体と高齢者結核患者のDOTS方法別割合



DOTSの種類

患者と保健所との相談により、全ての患者に対して個々の状況に合わせた服薬支援を行っています。

- ・保健所で行っている方法
「来所(面接)」「訪問」「空袋郵送」「メール」
- ・関係者をお願いしている方法
「入院・施設」「薬局」「学校」

関係者には、空袋の確認と患者への声掛け、保健所への連絡等をお願いしています。

高齢者のDOTSは、「入院中・施設中」「訪問」の割合が高い傾向にあります。

服薬の自己管理が困難な場合もあるため、関係機関にご協力いただきながら、対面でのDOTSを実施しています。

多機関の協力を得ながらDOTSを実施しています！

【事例紹介】80代男性 訪問看護のDOTS協力で治療完了

高齢の妻との二人暮らし。結核の発病をきっかけに介護サービスが導入され、訪問看護の利用を開始しました。

週1回の訪問看護では、体調管理やリハビリとともに抗結核薬の空袋・残薬の確認を、保健所は訪問看護に月に1回同席し、必要時電話等で情報共有を行いました。その結果、訪問看護の支えもあり9か月間の内服治療を無事在宅で完了することができました。

このように関係機関のご協力を得て、服薬支援をしています。



関係機関の皆様へ・・・

医療機関の方へ

高齢者は基礎疾患があったり、典型的な呼吸器症状がない割合が多いため、診断の遅れにつながる恐れがあります。結核の既感染率が高い高齢者から結核が多数発生することは避けがたいことです。しかし、呼吸器症状がない場合でも結核の可能性があることを念頭においていただき、適切な検査の実施や呼吸器科へ紹介することで早期発見・早期治療につなげていただきたいと思います。

地域の関係者の方へ

保健所は、全ての結核患者に対して、DOTSを行っています。特に高齢者世帯や他疾患のある患者、服薬支援者のない患者に対しては、支援が必要です。また、高齢者は、在宅サービス利用や施設入所、医療機関入院中である場合が多いため、入所施設、在宅の介護サービス事業所などの協力を得てDOTSを行っています。

今後、介護サービスを利用されていない患者等については、薬局でのDOTSやDOTS支援員の充実などを検討し、最後まで服薬が完了できるように、地域の様々な関係者の協力を得ながら支援していきたいと思ひます。

関係機関のみならず、結核のまん延防止、結核患者の治療完了のため、一層連携を強化していきたいと思ひます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。